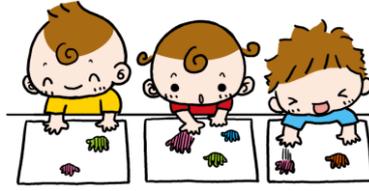


～3歳頃の発達のめやす～

人間関係

- 自分の名前、年齢を言う
- 「ぼく」「わたし」と言う
- 遊び相手を誘う
- 自己主張が強くなり、なんでも自分でやりたがる



全身の運動

- 階段の1段目から飛び降りる
- 三輪車のペダルを踏む
- かがむ姿勢がとれる
- 2～3秒間、片足で立つ



ことばと理解

- 大小がわかる
- 円、四角、三角を区別する
- 「これとおなじ」などと言う
- 「どうして」「なぜ」という質問が増える

手指の働き

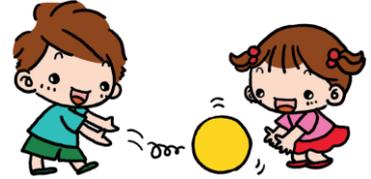
- 粘土などで、ケーキや団子などを作る
- 形にならないが画用紙にたくさんの絵を描き、聞かれれば説明する



～3～4歳頃の発達のめやす～

人間関係

- ・喜怒哀楽など感情表現が豊かになる
- ・特に仲良しの相手ができる
- ・役割をもった遊びができる



全身の運動

- ・でんぐり返しができる
- ・足を交互に出して階段を上がり下がりする
- ・片足とび（ケンケン）ができる



手指の動き

- ・ハサミを使う
- ・ボタンをかける
- ・両手を交互に、むすんだりひらいたりする（交互開閉）
- ・円や十字をまねて書く

ことばと理解

- ・発音がはっきりしてくる
- ・3つのものを指を折りながら数える
- ・基本的な色(赤、青、緑、黄色など)がわかる
- ・長いお話を聞いて理解する
- ・「だから」「したら」「だけど」などの言語表現が増える



～4～5歳頃の発達のめやす～

人間関係

- 相手の気を引くためにおどけたり、ひょうきんなことを言ったりすることが増える
- 自分の作った作品を自慢したり、とっておきたがる
- ごっこ遊びなどの役割遊びが盛んになる

全身の運動

- ジャンブルジムで遊べる
- スキップができる
- 引いてある線の上を歩く
- 目を閉じて片足立ち（3秒くらい）ができる

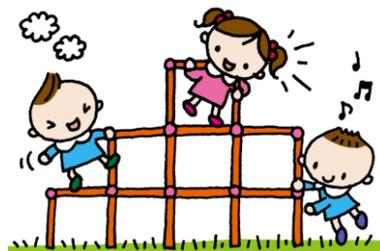


手指の働き

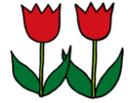
- ハサミで紙の連続切りができる
- ヒモで、かた結びができる
- 両手の交互開閉で「それをもっとゆっくり、もっとはやく」という指示に従う

ことばと理解

- 顔の絵に目、口、鼻などが書ける
- 「昨日」「今日」「明日」がわかってくる
- 昨日経験したことを話すことができる
- 1ケタの数が数えられる



〈3歳から5歳くらいまでのようす〉



こころは？

自立に向かって進んでいる時期ですが、時としてわがままや依存心がでてしまい、自立心はまだまだ不安定です。

からだは？

赤ちゃん時代のコロコロ型から少しずつスマートになっていきます。個人差があり、大柄な子もいれば小柄な子もいます。

行動は？

判断力が不十分なため、転んだり、ぶつかったりもしますが、こうした経験から身のこなし方を覚え、いろいろな遊びをします。

生活と環境は？

創造力が育ち、動きが活発になって変化に富んだ生活になります。この時期は水の事故が増えるので注意が必要です。

事故防止

行動範囲が広がり、交通事故も増えてくる時期です。道を歩くときは手をつなぐ、車の前後で遊ばない、などの安全教育が不可欠です。また、子どもを車に乗せるときはチャイルドシートの正しい着用が法律で義務付けられています。自転車は特に転びやすいので、必ずヘルメットをかぶりましょう。

予防接種

予防接種に打ち忘れはありませんか。母子手帳で確認しましょう。